

暴走・安倍政権

# 子どもの未来はどうなるの？

## 教育と教科書の統制、集団的自衛権、憲法「改正」

10月24日（金）18：30～20：30  
大田区立消費者生活センター

子どもと教育、平和を  
考えるつどい

お話

### いま、あらためて考える 憲法の平和主義と基本的人権、子どもの権利

堀尾輝久さん

（教育子育て九条の会呼びかけ人、東京大学名誉教授）



未来を担う仲間へ

### 「日本国憲法こそ若者の希望 —歴史の岐路に立って—」

白神優理子さん（弁護士 八王子合同法律事務所、元高校生平和ゼミナール）

特別報告

### もうごめん、戦争への道をひらく教科書は 公正な教科書採択を求める大田区民の会



進行 小森陽一さん

（九条の会事務局長）

### みんなで話しあいましょう

公正な教科書採択を求めるとりくみ  
教育の現場から  
子育ての悩みや期待  
憲法を守る運動・・・

\*参加費無料 カンパをお願いします



JR 蒲田駅東口から徒歩5分

共催：教育子育て九条の会（Tel.03-3255-6860）／大田教職員九条の会、大田子どもを守る会、大田ファミリー映画会、公正な教科書採択を求める大田区民の会、東京南部法律事務所、都教組大田支部（Tel.03-5703-0707）  
協賛：新婦人大田支部

## 育鵬社の教科書を再び採択させないために

私たち「公正な教科書採択を求める大田区民の会」は、未来を担う子どもたちに、きちんとした事実を学び考える力をもつ主権者に育ててほしいという思いを、たくさんの区民の方と共有し広げたいと、活動しています。

「教科書を選ぶのは、教員と学校」これが世界の常識です。日本の教育委員会のような行政機関が選ぶ国はほとんどありません。国連ユネスコでも、「教科書採択について、教員は不可欠の役割を与えられるべき」と勧告しています。

ところが、安倍政権は、日本を「戦争する国」にするために教育を支配して、それにふさわしい「人材」を育てようとしています。「社会科教科書は政府見解に基づいて書け」とする検定基準の改悪や道徳の教科化、そして教育委員会制度の改悪などはその表れです。

今後、安倍首相が推す育鵬社版教科書を採択させようとする動きが全国的に強まってくるでしょう。

来年 2015 年夏 大田区の教育委員会は中学校教科書を採択します。どうすれば子どものための教育になるのか、一緒に考えてみましょう。



### 教育子育て九条の会 は

全国各地で活動している 7500 余の「九条の会」と趣旨を同じくし、憲法を精神を子育てや教育に生かすことを目的として、13 人の呼びかけにより 2008 年 10 月に発足しました。そして、「子ども一人ひとりに学び発達する権利の保障を」「学校や保育園・幼稚園に民主主義を」「平和な社会の実現を」と呼びかけ、学習会や講演会などにとりくんできました。また、毎年 12 月に全国交流集會を企画し、東京、大阪、宮城、神奈川、長野などで開催してきました。これらの活動を通じて、

- ★各地の子育て・教育や憲法を守り生かす運動との連携をすすめたい
  - ★全教、日教組など組織加入の有無やちがいをこえて、教職員の連携をはかりながら運動をひろげたい
  - ★可能な地域には「教育子育て九条の会」をつくりたい
- と考えています。

#### 教育子育て九条の会 <呼びかけ人>

池田香代子（翻訳家）、池辺晋一郎（作曲家）、上原公子（元国立市長）、尾山宏（弁護士）、香山リカ（精神科医）、佐藤学（教育学者）、田中孝彦（教育学者）、暁峻淑子（経済学者）、藤田英典（教育学者）、堀尾輝久（教育学者）、榎枝元文（元日教組委員長・故人）、三上満（元全教委員長）、山田洋次（映画監督）